建築文化向上に貢献を

節目祝い、躍進誓う

県建築士会創立50周年記念式典

「絆を広げて半世紀 未来にはばたく建築士会」をスローガンに、県建築士会（川上道夫会長）の創立50周年記念式典は1日、鹿児島市のみなみホールで開かれ、地域の建築文化の向上に貢献する資格者団体として、いっそう発展することを誓い合った。

式典では、実行委員長の間世田親雄同協会副会長が50年の歩みを交えて挨拶したあと、川上会長は「発足時に比べると隔世の感があるが、これも皆さんのご支援のたまもの。会の歴史を守り、新たな躍進の礎にするため、環境、福祉、文化、再生等をキーワードに、会員一致協力して21世紀における郷土発展に役立ちたい」と述べた。

続いて、来賓の須賀龍郎県知事（代読－直江延明土木部長）、溝口宏二鹿児島市長（代読－園田太計夫建設局長）、宮本忠長日本建築士会連合会長（代読－宮崎八郎副会長）が「本県の建築文化の発展の母体となり、快適なまちづくりに貢献を」「次なる50年に向けて更なる飛躍を」などと祝辞を寄せた。

県建築士会は、昭和27年2月、会員数243人で発足。現在、産・学・官からなる3000人を超える会員で、組織率は全国一。各界の多彩なノウハウを生かし、社会貢献活動を展開している。

なお、同日は式典に先立ち、藤森照信東京大学工学部教授を講師に迎えて記念講演会があり、約300人の出席者は、建築と植栽の一体化に関する同教授のユーモアを交えた講話に聴き入った。

会長表彰者は次の通り。

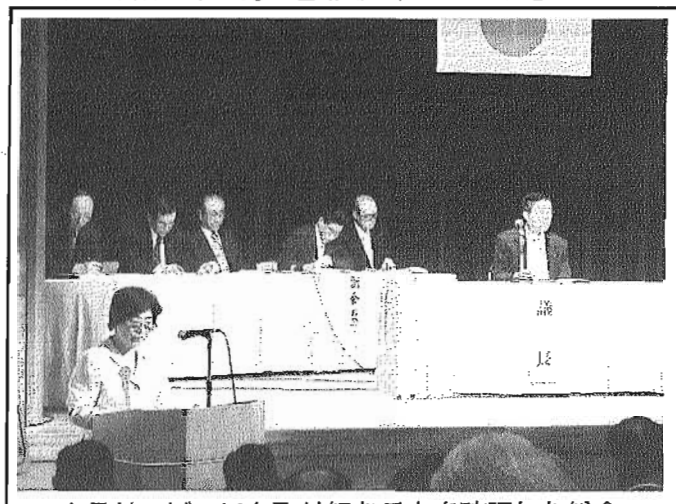
【本部役員経験者】本部＝阿多範子　川元健　幸野成一　小島安範　鮫島安文　下野治　城下芳哲彦　千原弘　友清貴和　中村純一　西園幸弘　羽月巧　濱田光隆　林陽郎　春田實　古川公一郎　前田博之　松岡志郎　丸山和男　三島浩幸　宮脇弘明　山口健二▽指宿＝坂口次治　玉井重廣　堂園稔　松下勉　南洋　物袋正次▽南薩＝園田正嗣　高山健二　田代司　田代昌弘　抜水充　水流道大　中野昭郎　福元健史▽日置・串木野＝尾堂竜太　栫赦知雄　中城良治　野元善一　東勇二　松坂清美▽川薩＝今村裕　上口憲一　上野昭信　内田昭角田正雄　武田敏郎　竹七郎　裕次郎　根比格次　野元善文　橋口知章　橋之口富雄　濱崎茂　松尾浩一　吉永親▽阿久根・長島＝平田久明　松木勝徳▽出水＝内村優　江川野一成　坂野伸一郎　中山謙　濱之上博訓　福澤英世▽大口・伊佐＝永野治　原口文男　南園泰夫▽国分・姶良＝秋窪義秀　内村一也　木佐木俊春　窪田勝次　後藤啓太　逆瀬川修　崎元博典　末廣浩二　谷口比寿志　田丸徹也　津田和亨　新保高志　南明人▽曽於＝有上義昭　伊地知明雄　川畑博　中村信弘　外園孝志小串一義　諏訪下勉　當房貴広　泊孝二　新保千秋　林正英　外薗實嘉　窪田勝次　後藤啓太　逆瀬川修　崎元博典　末廣浩二　谷口比寿志　田丸徹也　津田和亨　新保高志　南明人▽曽於＝有上義昭　伊地知明雄　川畑良五男　藤原忠　前田信雄　前田慶則　松葉瀬幸天辰国丸　鹿島如竹　佐々木孝良▽大口・伊佐＝侍金等▽国分・姶良＝黒江文夫　坊地光二　松田年春▽曽於＝川畑勇三▽垂水＝池之上邦彦▽大島＝安藤正光　大沢照雄　藤山光通

【支部役員経験者（5期）】指宿＝岩下保夫　久津輪茂己　小園孝志　樋園秀吉　松原四夫　山下一英　米満憲一▽南薩＝楠元章一　橋口和行　福戸山茂美　船越宏之▽日置・串木野＝大迫一男　冨ケ原孝二　中辻裕二▽川薩＝下園政喜　中俣知良　森田新二　山下良計▽阿久根・長島＝牛之浜拡　大野清秀　築地康久　遠矢良彦　濱崎恭司　松山教生　山下幸雄▽出水＝揚松明男　犬童秋男　表迫文雄　田代幸雄　宮田隆志　米沢義美　吉村博雄　松原進▽大口・伊佐＝有薗能博　末吉年信　竹内春男　橋口徳二　濱田義秀　平川聖一　本市幸夫　山下照美　横山良一　吉松俊一郎▽国分・姶良＝後平義寛　入来孝行　岩澤浩二　鬼塚浩　坂口明　竹之上望　徳田浩一　東井上陽市　坊地明　瀬戸口辰夫　中留和美　福留勉▽鹿屋・肝属＝岩下和男　内倉良美　大山修司　岡源一郎　甲斐眞澄　上谷田重樹▽垂水＝野元一義　東敬彦▽熊毛＝崎田信三郎　笹川義夫　寺田義春　平山時盛▽大島＝酒井萃　朝山三千丸

【支部青年部会の正副部会長経験者（5期）】指宿＝蔵薗武久

【事務局職員（5年以上）】指宿＝片野田おりえ

郷土発展へ更なる協力を確認した式典
＝鹿児島市のみなみホールで


ＩＴサービスにも取り組むことを確認した総会
＝鹿児島市のみなみホールで

県建築士会総会

会員増強と社会活動推進

県建築士会（川上道夫会長）は1日、鹿児島市のみなみホールで第50回通常総会を開き、会員増強運動の展開と社会的活動の積極的推進を柱とする14年度事業計画を決めた。

総会では、川上会長が建築士の業務進歩改善と技術向上、社会的活動への参加を促す挨拶をしたあと、大正14年生まれの11人に名誉会員称号を授与。平野一美氏を議長に選出しての議事では、14年度事業計画・収支予算案など5議案を審議、原案通り承認した。

新年度事業は、会員増強と50周年記念事業を重点に計画。とりわけ、IT情報サービスと会員の拡大、地域貢献活動センター設立と、まちづくり活動の推進に力を入れることにしている。

異動等に伴う役員補選と名誉会員は次の通り。

【役員（補選）】▽理事＝平川純雄　熊谷良博　加納博　松元勝郎　井上保人▽評議員＝上橋広行　坂野伸一郎　七夕貞満　藤元正和　丸山和男　井出之上浩幸　渡島秀夫　新保高志　猿渡祐宏

【名誉会員】石堂三郎　内金繁夫　野村三郎　東迫憲治　堀之内清二　駒田登　犬堂秋男　田頭重治　隈元駿　大沢照雄　清水正雄

青年部総会――

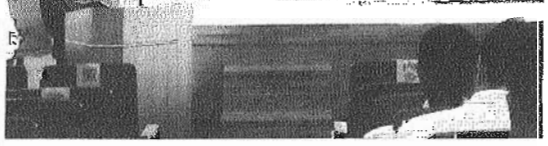
危機感持ち、論議の場を

県建築士会青年部会（三島浩幸部会長）は1日、鹿児島市のみなみホールで14年度通常総会を開き、九州ブロック建築士の集い（福岡大会）への積極的参加、会員相互の親睦活動を柱とする新年度事業計画を決めた。

総会冒頭、三島部会長は、昨年鹿児島で開催した建築士の集いの成功に謝意を述べたあと、「連合会では、専攻建築士、建築士制度の問題等に対し危機感を持っている。こうした論議を皆さんと一緒に行い、鹿児島から新しい提案ができれば最高だ」と挨拶。また、このほど各支部長との電子メール連絡網を構築したことも付け加えた。

続いて、古川公一郎氏を議長に議事に入り、13年度事業報告・決算、14年度事業計画・収支予算案など3議案を審議、承認した。新年度事業計画は①建築士の集い（福岡大会）、全国大会への積極的参加②会員親睦事業としての支部対抗スポーツ大会③建築士試験準備講習会への講師派遣④県内工業高校建築科への就職ガイダンス⑤まちなみタウンウオッチングの実施⑥他の建築関係団体との交流など。

続いて、井之上由美子氏を議長に議事に入り、13年度事業計画・収支予算案など3議案を審議、原案通り承認。新年度事業計画は、112人の部会員の地域での活動を活性化するため、県内を5ブロックに分けて支援体制を整備する。また、①有資格者として地域活動への取り組み②各種大会、会合への積極的参加・交流③住まいと建築展へのパネル出展と建築相談員派遣などを掲げている。



会員親睦事業の継続を決めた青年部総会（上）と新年度の事業計画を発表する阿多女性部会長＝鹿児島市のみなみホールで

女性部会総会――

地域活動へ本格参加

県建築士会女性部会（阿多範子部会長）は1日、鹿児島市の南日本新聞会館で14年度通常総会を開き、会員増強と地域活動への積極的参加を柱とする新年度事業計画を決めた。

総会では、初めに阿多部会長が「私たちの部会は9年目を迎え、13年度も大島支部との交流、全国連絡協への参加、本会への6人の委員任命、会員パネル展示などの活動を展開してきました。男女共同参画社会の流れの中で、女性建築士として互いに手を携え、楽しく活動を続けましょう」と挨拶。

お手軽で便利な
購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ